

### 第3 審判の職権と任務（フットサル競技規則 第6条 その他の審判員 P47～P50）

- 主審・第2 審判およびタイムキーパーを援助する
- 試合に参加する競技者の記録を取る
- 主審・第2 審判の要求の下、ボールの交換を監視する
- 交代要員がピッチに入る前に用具を確認する
- 得点者の番号を記録する（記録員とは別に自分自身でメモ書き程度で構わない）
- ピッチ上にいる主審・第2 審判が判定を下すにあたり、採用するかしないかにかかわらず、試合に参加している者による反則、不正行為または反スポーツ行為について知らせる
- チーム役員からタイムアウトの要求があったとき、タイムキーパーに要求があったことを知らせる
- タイムキーパーが音でタイムアウトの合図をしたならば、所定のシグナルで主審・第2 審判および両チームにタイムアウトが与えられたことを知らせる
- タイムアウトの要求を記録する（記録員とは別に自分自身でメモ書き程度で構わない）
- 各ピリオドにおける、主審・第2 審判から合図された各チームの累積ファウルを記録する
- 各ピリオドにおいて、チームが、それぞれ5 回目の累積ファウルを行ったときに、所定シグナルを示す（ファイブファウルのシグナルとコール）
- 各ピリオドにおいて、チームが、それぞれ5 回目の累積ファウルを行ったときに、タイムキーパー・テーブルの上にはっきりと見える表示を置く（赤色の筒を被せる、または赤色に表示を変える）
- 警告された、または退場を命じられた競技者の氏名、番号を記録する
- 各ピリオドが始まる前にタイムアウト要求のための用紙を各チーム役員に手渡し、各ピリオドで、タイムアウトの要求がなかった場合、各ピリオド後にその用紙を回収する
- 退場を命じられた競技者に代わる交代要員がピッチに入ることができる時間を示す用紙をそれぞれのチームの役員に手渡す
- 主審・第2 審判の監理のもと、用具を正すためにピッチ外に出た競技者がピッチに戻るのを確認する
- 主審・第2 審判の監理の下、負傷等によりピッチ外に出た競技者がピッチに戻るのを確認する
- 競技者の警告や退場に明らかな誤りがあったとき、または主審・第2 審判の視野外で乱暴な行為が行われた場合、主審・第2 審判に合図する。いずれの場合でも、主審・第2 審判は、プレーに関する事実について判定する
- テクニカルエリアやベンチにいる者の行為を監視すると共に不適切な行動について主審・第2 審判に知らせる
- 外部からの妨害によりプレーが停止された事実および理由について記録する
- 試合に関するその他の情報を提供し、主審・第2 審判を援助する
- 必要に応じて、ピッチ内でフットサル審判員のための実践的ガイドラインの関係個所に示されているポジションをとる
- 主審または第2 審判に負傷や事故があった場合、第2 審判に代わる

<以下に記すページも目を通しておくと良い>

- 副審によるシグナルなど ; P123、P154、P188、P190、P195、P196
- ポジションに係わる記載があるページ ; P126、P133、P138、P144、P152、P215
- レフェリングに求められること ; P152～P155